

スペイン語スピーチコンテスト

外国語学部 スペイン語学科 岩崎賢

2024年6月27日(木)、神奈川県立三浦大学において、外国語学部スペイン語学科主催(後援: 神奈川県立三浦大学文学会)のスペイン語スピーチコンテストが開催されました。このコンテストは主としてスペイン語学科の学生が様々なテーマについてスペイン語で発表しその実力を競うというもので、毎年、外国語学部文化ウィークの一環として開催されています。

このコンテストには2つのカテゴリー、すなわち Categoría A (詩や物語の暗唱) と Categoría B (特定テーマでの自作のスピーチ) があり、入賞者には賞状と副賞が与えられます。今年にはAには4名、Bには7名の参加がありました。

Aではパブロ・ネルーダやガルシア・ロルカなどの詩人たちの詩の暗唱がなされました。またBでは、日本における英語教育、ピカソの「ゲルニカ」、地球温暖化、など多様な社会的・文化的テーマで発表がなされ、その後には発表者と学科の教員や学生たちの間でスペイン語で質疑応答がなされました。たくさんの聴衆の面前で、ほどよい緊張感につつまれながらスペイン語で発表や質疑応答をすることは、参加した学生たちにとって貴重な経験になったようです。



入賞のタイトル

Categoría A

1位

Cuando se abre la mañana
(Federico García Lorca)

2位

Los sueños
(Antonio Machado)

Categoría B

1位

La situación de la enseñanza del inglés en Japón
日本の英語教育の状況

2位

Enganchados al móvil
スマホ依存症

3位

El futuro
未来について

審査員特別賞

Lo que podemos hacer para frenar el calentamiento global
地球温暖化を抑えるために私たちにできること

観客が選ぶ特別賞

Un aspecto interesante de la cultura española
スペイン文化の興味深い一面

入賞者の声

池田 夏鈴 Cuando se abre en la mañana

スピーチコンテストで二年生にも関わらず賞をいただけで、大変嬉しいです。このコンテストには、スペイン語の良い練習の機会になればと思います、参加を決めました。コンテスト本番のためにアレハンドロ先生から詩の意味や発音、読み上げる際の抑揚やリズムについてご指導いただきました。今回、賞をいただいたのも、先生のご指導のおかげです。

私は「Cuando se abre en la mañana」という詩の暗唱をしました。詩の意味や背景、雰囲気伝わるように、詩を読む速度に緩急をつけ、抑揚が自然に感じられるように気をつけて練習しました。本番では緊張して早口にならないように、観客の顔を見ながらゆっくりと発音すること、リズムを崩さないようにすること、紙を捲る音に被らないようにすることを意識して発表しました。その甲斐あって、詩の意味がしっかりと伝わったと、先生方からお褒めの言葉をいただきました。このコンテストに参加したことで、スペイン語の能力はもろろん、人前で上手に話すための技術も向上したと思います。ありがとうございました。

関水 めいり Cuando se abre la mañana

私は今回のスピーチコンテストで、Categoría Aの詩の暗唱に参加しました。参加した理由は、自分の力を試してみたかったのと、単純に図書カードがほしい

かったからです。日々の練習や暗記は大変でしたが、同時に楽しくもありました。

スピーチコンテストに参加して良かったことは、想像していたよりも沢山ありました。たとえば、友達と一緒に参加できたのが嬉しかったり、スペイン語の詩を暗唱できるようになったり（かつこよくないですか？）、色んな人に褒めてもらえたり、嬉しくなることが様々ありました。

もし、次のスピーチコンテストに参加するか迷っている人がいたら、チャレンジしてみるのをおすすめします。やりきった後の達成感は格別ですよ。

山藤 英絵 *La situación de la enseñanza del inglés en Japón*

私は昨年留学した経験を活かし、今回のスピーチコンテストへの出場を決めました。テーマは自由に決めることができたので迷いましたが、自分が好きな分野について話したいと思い、言語教育に関するテーマを選びました。原稿を3分という規定の時間内に収めるのがなかなか難しく、思ったようにいかないこともありました。しかし添削してくださった先生方のアドバイスのおかげで、納得のいく内容に仕上げることができました。本番はたくさんの方の前で発表することに緊張もありましたが、スムーズに言葉が出てきたので練習の成果を感じることができました。

今回の経験を通し、自分のスペイン語能力の課題と改めて向き合うことができ、また大勢の方の前で話すという貴重な体験をさせていただきました。最後に、このような場を提供してくださったスペイン語学科の先生方に厚くお礼申し上げます。

謝 莉里 *Enganchados al móvil*

今回初めてスピーチコンテストに参加したことは、私にとって大きな挑戦でした。スピーチコンテストの

練習期間にスペイン語の検定試験もあり、練習の時間を作るのが難しかったのですが、上手く隙間時間を使い練習に励むことができました。

練習では、発音、トーンの大きさ、どの部分を強調し、観客に表現するのかが難しかったです。スピーチの終わりに質疑応答があったので、考えられる質問を想定し、対策をしました。当日は、とても緊張しましたが、いままで自分が練習してきたことをやるしかないという気持ちでなんとか最後までやり遂げ、質問にも答えることができました。

スピーチコンテストの内容は、多くの大学生が直面しているスマホ依存症について発表しました。これがみんなにスマホとの向き合い方を考えてもらうきっかけになれば、嬉しく思います。

スピーチコンテストの練習や質疑応答対策を沢山付き合ってくれた先生方と友達たちには、感謝しかありません。そして最終的には2位入賞できたのが嬉しかったです。これからもこの経験や留学での経験を無駄にすることなく、勉学に励んでいきたいと思っています。

山口 みらい *El Futuro*

まさか私がスピーチコンテストに出場し、3位に入賞できるなんて夢にも思っていませんでした。初めは、このコンテストに出場することにあまり乗り気ではなく、自分のスペイン語に自信も持っていませんでした。しかし、一度決まったからにはやるしかありません。やって後悔するより、やらないで後悔する方が嫌だ、自分の人生を楽しもうという思いで、このコンテストまでの日々を過ごしました。

テーマはまさしく人生について、そして世界中の自殺者についてです。最後には、「未来のことはなるようになるさ、心配しすぎないで。」という普段自分にも言い

聞かせている言葉を皆と共有したいと思い、付け加えました。私は練習中、この言葉に何度も励まされました。

コンクール当日、私は聞いてくれていた人たちの目をしっかりと見て、私の伝えたいことが伝わるようにはっきりとゆっくりとスピーチをしました。最後には、ドリス・デイの「Que se irá, se irá」の一節を歌い、アクセントを付け加え、その言葉が印象に残るようにしました。コンテスト終了後、友達や先生方から「内容が素晴らしくて涙が出た。」と言ってもいい、誰か一人の心にも届いたことにとっても嬉しくなりました。

小田島 ちあせ *Un aspecto interesante de la cultura española*

私は今回のスピーチコンテストが初めての参加でしたが、ずっと興味がありました。入学して初めての年にスピーチコンテストを初めて見て、先輩たちの堂々とした発表にいつか自分もこうなりたい！と強く思っていました。とはいえ、自分がいざその年になると、なぜかあまり自信が持てませんでした。しかし、今年の前期に履修していた上級スペイン語のクラスがとても楽しく先生が背中を押してくれたおかげで、上級スペイン語の5人のみんなと一緒に参加することを決めました。みんなで授業中、そして放課後などたくさん練習をして、すごくいい思い出になりました。

私はこの発表で「スペインの興味深い文化」について発表しました。正直テーマを決めるのはすごく時間がかかりましたが、実際にスペインに留学した自分が感じた日本との違いを他の学生にも共有できてとても嬉しかったです。観客の皆さんから素敵な賞をいただきましたことはもちろんとても嬉しいですが、なにより自分のスペイン語に自信を持てたことがこれからの言語学習のモチベーションになりました。本当に参加してよかったです！ ありがとうございます。